



平成 18年 3月期 第3 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 18年 1月 23日

上場会社名 **花王株式会社**

(コード番号: 4452 東証第一部)

(URL <http://www.kao.co.jp>)

代表者 代表取締役 社長執行役員 尾崎 元規

問合せ先責任者 執行役員 会計財務部門統括 三田 慎一

TEL (03) 3660 - 7111

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有 (詳細は添付資料)
(内容) 退職給付引当金

最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 有 連結(新規)14社(除外)5社 持分法(新規)11社
(詳細は添付資料)

2. 平成18年3月期第3 四半期財務・業績の概況(平成17年4月1日 ~ 平成17年12月31日)

(1)経営成績(連結)の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨て

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期第3 四半期	746,033	2.9	105,205	1.6	107,075	0.3	64,212	3.0
17年3月期第3 四半期	724,743	4.0	103,586	3.2	106,792	2.5	62,352	3.7
(参考) 17年3月期	936,851		121,379		125,345		72,180	

	1株当たり四半期 (当期)純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益
	円 銭	円 銭
18年3月期第3 四半期	118.04	117.76
17年3月期第3 四半期	113.17	111.13
(参考) 17年3月期	131.16	129.09

(注)売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率

(2)財政状態(連結)の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年3月期第3 四半期	747,223	495,000	66.2	909.76
17年3月期第3 四半期	720,109	451,783	62.7	825.73
(参考) 17年3月期	688,973	448,249	65.1	821.47

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
18年3月期第3 四半期	88,716	54,057	27,772	78,510
17年3月期第3 四半期	76,888	44,210	75,448	64,455
(参考) 17年3月期	109,567	54,407	90,657	70,409

【参考】

平成18年3月期の連結業績予想(平成17年4月1日 ~ 平成18年3月31日)

平成17年10月24日の平成18年3月期中間決算発表時の予想から、下記のように変更しております。(添付資料の3ページ参照)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
今回修正予想	970,000	123,000	124,000	72,000
従来予想	965,000	125,000	126,000	74,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 今回修正予想 132円15銭 従来予想 135円81銭

上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

平成 18 年 3 月期 第 3 四半期経営成績及び財政状態の概況(連結) (9ヶ月間の累計)

経営成績

当第 3 四半期(平成 17 年 4 月 1 日から平成 17 年 12 月 31 日まで)の経済は、国内では個人消費が堅調に推移するなど、景気は全般的に回復傾向にあり、海外でも概ね景気の拡大傾向にありました。このような中、当社グループは、市場の変化に対応し、商品の高付加価値化に取り組みました。売上高は、前年同期より 212 億円増加して 7,460 億円(前年同期比 + 2.9%)となりました。増加額には、為替換算差による影響が 8 億円含まれております。利益面では、原料価格高止まりの影響がありましたが、新製品の上市や工業用製品の拡売、及びコストダウン活動などに注力し、営業利益は対前年同期で 16 億円増加して 1,052 億円、経常利益は 1,070 億円(対前年同期 + 2 億円)となりました。一方、四半期純利益は、税効果会計適用後の法人税等の負担率の低下などにより、対前年同期で 18 億円増加し、642 億円となりました。

なお、昨年 12 月に株式売買契約に調印し、本年 1 月末に取得を予定しているカネボウ化粧品は、当第 3 四半期の業績には影響しておりません。

セグメント別の概況

【家庭用製品事業】

売上高は、付加価値を高めた新製品・改良品を積極的に投入し、前年同期に対して 1.8%増(為替変動の影響を除いた実質伸長率も + 1.8%)の 5,474 億円となりました。営業利益は、新製品などで販売数量は増加しましたが、世界的な原材料高と日本での販売価格低下の影響を受け、前年同期とほぼ同額の 802 億円となりました。

国内

市場では、販売価格の下落傾向が緩やかながらも続いており、主要製品の価格水準は前年同期に対して 1 ポイントほど低下しています。こうした中で当社グループは、事業部門と販売部門が一体となってカテゴリーごと、チェーンごとのマーケティング活動を積極的に進めた結果、売上高は前年同期を 0.6%上回り、4,259 億円となりました。

パーソナルケア製品では、売上高は前年同期に対して 4.3%増の 1,449 億円となりました。「ビオレu 泡で出てくるハンドソープ」が好調に推移し、「ビオレu」全体の売り上げを伸ばしました。また、シャンプー・リンスのカテゴリーでも、「アジエンス」に美髪シリーズを加えて好調に推移したことなどにより、市場競争が激化する中、売り上げを伸長させることができました。

ハウスホールド製品では、売上高は前年同期に対して 1.4%増の 1,910 億円となりました。衣料用洗剤のカテゴリーで、店頭での販売価格下落や贈答品市場の縮小が続いていますが、天然柔軟成分配合の「ふんわりニュービーズ」などの新製品・改良品によって市場を活性化し、増収を確保しました。また、衣類・布製品用消臭剤「リセッシュ」を新発売し、好調に推移しました。

サニタリーほか製品では、売上高は前年同期に対して 6.2%減の 899 億円となりました。サニタリー製品では、子供用紙おむつ「メリーズ」を改良し、売り上げも順調に増加しました。また、生理用品「ロリエ エフ」が消費者に支持され、売り上げを拡大しています。ヘルスケア製品では、健康機能油の「エコナ」関連製品は、競争激化の影響を受け、健康茶系飲料「ヘルシア」はカテキンブーム沈静化で継続飲用者に集約され、減収となりました。一方、肩こり・腰痛などの患部の血のめぐりを良くする蒸気温熱シート「めぐりズム」を新発売しました。

海外

アジアでは厳しい競争環境が続いていますが、構造改革に取り組んだ中国では成果が現れつつあり、売り上げは伸長しています。またアセアンも回復傾向にあり、アジア全体の売り上げは前年同期に対し 3.0%増の 416 億円となりました。一方、欧米の売上高は前年同期に対し 7.7%増の 853 億円となりました。花王ブランド社のスキンケア新製品「ジャーゲンス・ナチュラル・グロー」が大きく売り上げに貢献しました。また、花王プロフェッショナル・サロン・サービシーズ社も、新製品、改良品が好評を博しています。

【化粧品事業】

消費者の価値観・美意識の変化や、販売チャネルの多様化が進む中、国内市場において当社グループは、百貨店では「エスト」、総合スーパーやドラッグストアチャネルでは「アルブラン」などのブランド強化に取り組みました。「ソフィーナ」ブランドでは、スキンケア品の「ライズ」や「バイタルリッチ」、ファンデーションの「ファインフィット」などの改良を行い、商品力を強化しました。一方、海外市場では新たに「モルトン・ブラウン」が加わりました。以上の結果、売上高は前年同期に対して2.4%増の629億円、営業利益は、新規市場の開拓や、国内市場への積極的費用投下もあり8.2%減の66億円となりました。

【工業用製品事業】

売上高は、油脂、機能材料及びスペシャルティケミカルズのコア事業で事業拡大に努め、前年同期に対して6.1%増（為替の変動の影響を除く実質伸長率+5.6%）の1,566億円となりました。営業利益は、石油化学原料価格上昇の影響を受けましたが、販売数量増加やコストダウン活動により、前年同期に対して14.6%増益の181億円となりました。

国内

景気が回復基調にある中で、潤滑油などの産業用資材関連製品は厳しい状況にありましたが、コンクリート用高性能減水剤、インクジェットプリンターインク用色材やカラートナーなどは順調に推移しました。以上の結果、売上高は前年同期に対して3.5%増の864億円となりました。

海外

アジアでは、油脂アルコール製品をグローバルに拡売し、またアセアン諸国の界面活性剤も順調に推移し、売上高は前年同期に対し8.6%増の386億円となりました。欧米では、トナー・トナーバインダーが好調を継続し、コンクリート用高性能減水剤も売り上げを伸ばしており、売上高は前年同期に対して12.4%増の538億円となりました。

財政状態

総資産は、前連結会計年度末に比べ582億円増加し、7,472億円となりました。現金及び預金の増加のほか、季節要因で10月から12月の売り上げが相対的に多く、売掛金が増加したことなどによるものです。負債は、買掛金や未払費用の増加などにより、前連結会計年度末に比べ111億円増加し、2,444億円となりました。株主資本は四半期純利益を中心に、前連結会計年度末に比べ467億円増加し、4,950億円となり、株主資本比率は、前連結会計年度末の65.1%から66.2%となりました。

営業活動によって得られたキャッシュ・フローは、887億円となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が1,056億円、減価償却費が424億円であったものの、法人税等の支払いが396億円、売上債権の増加が219億円であったことによるものです。投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、国内外の生産能力増強や合理化投資、モルトン・ブラウン社の買収などにより、540億円となりました。財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、増配の実施などにより、277億円となりました。以上の結果、当第3四半期末の現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ81億円増加し、785億円となりました。

通期の連結業績の見通し

既存事業活動については、新製品・改良品による国内家庭用製品市場の活性化や、経費を効率的に使用することなどにより、平成18年3月期中間決算発表時の計画を上回るものと見込んでおります。一方、カネボウ化粧品から取得予定の知的財産権の償却の影響、また、カネボウ化粧品の株式取得等に伴う外部からの借入金に対する金融費用も発生しますので、通期（平成17年4月1日から平成18年3月31日）の連結業績は、売上高9,700億円、営業利益1,230億円、経常利益1,240億円、当期純利益を720億円と予想しています。

要約四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期末 (平成17年12月31日現在)		前連結会計年度末 (平成17年3月31日現在)		増 減 (印減)	前第3四半期末 (平成16年12月31日現在)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	金 額	構成比
(資 産 の 部)		%		%			%
流 動 資 産	322,569	43.2	289,180	42.0	33,388	311,460	43.3
現金及び預金	58,539		32,026		26,513	37,724	
受取手形及び売掛金	128,255		103,586		24,669	129,923	
有 価 証 券	19,971		40,383		20,411	35,731	
た な 卸 資 産	88,078		81,781		6,296	81,028	
そ の 他	27,724		31,403		3,678	27,053	
固 定 資 産	424,535	56.8	399,662	58.0	24,872	408,564	56.7
有 形 固 定 資 産	264,339		260,223		4,116	261,600	
無 形 固 定 資 産	109,419		86,222		23,197	91,879	
そ の 他 の 資 産	50,776		53,217		2,440	55,084	
繰 延 資 産	118	0.0	130	0.0	11	83	0.0
資 産 合 計	747,223	100.0	688,973	100.0	58,250	720,109	100.0
(負 債 の 部)							
流 動 負 債	225,953	30.2	211,541	30.7	14,411	226,366	31.4
支払手形及び買掛金	78,477		70,993		7,483	79,716	
短期借入金	20,130		18,604		1,525	19,201	
未 払 費 用	72,581		63,233		9,347	73,015	
そ の 他	54,764		58,709		3,945	54,433	
固 定 負 債	18,494	2.5	21,768	3.1	3,274	33,717	4.7
社債及び長期借入金	579		1,426		847	9,346	
退職給付引当金	3,616		10,211		6,595	13,875	
そ の 他	14,299		10,130		4,168	10,495	
負 債 合 計	244,448	32.7	233,310	33.8	11,137	260,084	36.1
(少 数 株 主 持 分)							
少 数 株 主 持 分	7,775	1.1	7,413	1.1	361	8,241	1.2
(資 本 の 部)							
資 本 金	85,424	11.4	85,424	12.4	-	85,424	11.9
資 本 剰 余 金	109,561	14.6	109,561	15.9	-	109,561	15.2
利 益 剰 余 金	339,883	45.5	299,345	43.5	40,537	358,410	49.7
その他有価証券評価差額金	6,228	0.8	3,533	0.5	2,694	3,598	0.5
為 替 換 算 調 整 勘 定	33,839	4.5	39,765	5.8	5,925	35,040	4.9
自 己 株 式	12,257	1.6	9,850	1.4	2,406	70,170	9.7
資 本 合 計	495,000	66.2	448,249	65.1	46,751	451,783	62.7
負債、少数株主持分及び資本合計	747,223	100.0	688,973	100.0	58,250	720,109	100.0

(注) 増減は当第3四半期末と前連結会計年度末との比較で表示しております。

要約四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当第3四半期		前第3四半期		増 減	前連結会計年度	
	(自 平成17年4月1日 至 平成17年12月31日)		(自 平成16年4月1日 至 平成16年12月31日)		(印減)	(自 平成16年4月1日 至 平成17年3月31日)	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	金 額	百分比
		%		%			%
売 上 高	746,033	100.0	724,743	100.0	21,290	936,851	100.0
売 上 原 価	321,990	43.2	306,140	42.2	15,849	404,803	43.2
売 上 総 利 益	424,043	56.8	418,602	57.8	5,440	532,047	56.8
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	318,837	42.7	315,015	43.5	3,822	410,668	43.8
営 業 利 益	105,205	14.1	103,586	14.3	1,618	121,379	13.0
営 業 外 収 益	3,336	0.5	4,409	0.6	1,073	5,709	0.6
受取利息及び受取配当金	1,011		593		418	903	
持分法による投資利益	208		1,416		1,208	1,216	
為 替 差 益	-		277		277	591	
そ の 他	2,116		2,121		5	2,997	
営 業 外 費 用	1,466	0.2	1,204	0.2	262	1,743	0.2
支 払 利 息	856		699		156	933	
為 替 差 損	256		-		256	-	
そ の 他	353		504		151	809	
経 常 利 益	107,075	14.4	106,792	14.7	282	125,345	13.4
特 別 利 益	349	0.0	1,068	0.2	719	1,613	0.2
特 別 損 失	1,744	0.2	2,794	0.4	1,050	7,305	0.8
税 金 等 調 整 前 四 半 期 (当 期) 純 利 益	105,679	14.2	105,065	14.5	614	119,653	12.8
法 人 税 等	40,689	5.5	42,234	5.8	1,544	47,118	5.1
少 数 株 主 利 益 (減 算)	777	0.1	478	0.1	298	355	0.0
四 半 期 (当 期) 純 利 益	64,212	8.6	62,352	8.6	1,860	72,180	7.7

(注) 増減は当第3四半期と前第3四半期との比較で表示しております。

要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科 目	期 別		前連結会計年度 (自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
	当第3四半期 (自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	前第3四半期 (自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)	
	金 額	金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益	105,679	105,065	119,653
減価償却費	42,419	41,643	56,793
受取利息及び受取配当金	1,011	593	903
支払利息	856	699	933
売上債権の増減額(増加：)	21,947	31,136	5,922
たな卸資産の増減額(増加：)	3,560	8,336	9,781
仕入債務の増減額(減少：)	5,893	10,686	2,636
退職給付引当金の増減額(減少：)	6,746	9,383	13,009
その他の	5,293	8,408	745
小計	126,876	117,053	151,146
利息及び配当金の受取額	2,350	1,072	1,956
利息の支払額	893	464	912
法人税等の支払額	39,616	40,772	42,623
営業活動によるキャッシュ・フロー	88,716	76,888	109,567
投資活動によるキャッシュ・フロー			
有価証券・投資有価証券の取得による支出	3,028	9,019	12,025
有価証券・投資有価証券の償還及び売却による収入	17,031	4,085	10,863
有形固定資産の取得による支出	34,325	36,666	50,771
有形固定資産の売却による収入	1,306	1,065	2,434
無形固定資産の取得による支出	1,997	4,259	3,979
新規連結子会社の株式取得等に伴う支出	31,656	-	-
長期貸付による支出	598	926	1,131
その他の	789	1,508	201
投資活動によるキャッシュ・フロー	54,057	44,210	54,407
財務活動によるキャッシュ・フロー			
借入金の増減額(減少：)	642	921	308
自己株式の取得による支出	5,806	57,765	71,632
配当金の支払額	22,458	18,073	19,259
少数株主への配当金の支払額	601	1,340	1,332
その他の	451	809	1,258
財務活動によるキャッシュ・フロー	27,772	75,448	90,657
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,301	73	1,246
現金及び現金同等物の増減額(減少：)	8,189	42,695	36,742
現金及び現金同等物の期首残高	70,409	107,151	107,151
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	760	0	0
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	848	-	-
現金及び現金同等物の期末残高	78,510	64,455	70,409

(注) 重要な非資金取引の内容(百万円)

転換社債の転換に伴い自己株式を代用したことによる			
自己株式の減少額	3,112	43,339	53,476
自己株式処分差損(利益剰余金)	1,464	20,738	25,604
転換による転換社債減少額	1,647	22,600	27,871

四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用

当社は、中間連結財務諸表等の作成基準をベースとしつつ、以下のとおり投資者等の利害関係者の判断を大きく誤らせない範囲で一定の簡便な手続を採用しております。

退職給付引当金の計上基準……当社及び主要な連結子会社においては、当連結会計年度末における退職給付債務及び年金資産の見込額に基づき、当第3四半期末において発生していると認められる額を計上しております。

連結及び持分法の適用範囲の異動

- ・連結子会社 (新規) 14社：花王(中国)研究開発中心有限公司、Kao Brands Australia Pty Limited、Kao Prestige Limited、Molton Brown Limited 他10社
(除外) 5社：ADM Kao LLC 他4社
- ・持分法適用会社 (新規) 11社：花王システム物流(株)、昭和興産(株)、ADM Kao LLC 他8社

販売実績

(単位：百万円)

事業区分	当第3四半期	前第3四半期	増減率	前連結会計年度
	(自平成17年4月1日 至平成17年12月31日)	(自平成16年4月1日 至平成16年12月31日)		(自平成16年4月1日 至平成17年3月31日)
家庭用製品			%	
パーソナルケア製品	144,940	138,906	4.3	180,616
ハウスホールド製品	191,056	188,464	1.4	234,250
サニタリーほか製品	89,992	95,912	6.2	122,079
日本計	425,990	423,283	0.6	536,947
アジア	41,612	40,413	3.0	53,508
欧米	85,343	79,244	7.7	106,735
内部売上消去等	5,542	5,273	-	7,183
計	547,403	537,669	1.8	690,006
化粧品	62,900	61,433	2.4	78,294
工業用製品				
日本	86,413	83,527	3.5	111,475
アジア	38,692	35,643	8.6	47,231
欧米	53,818	47,882	12.4	64,035
内部売上消去等	22,273	19,367	-	25,753
計	156,651	147,686	6.1	196,989
合計	766,955	746,789	2.7	965,290
消去	20,921	22,046	-	28,439
連結売上高	746,033	724,743	2.9	936,851

事業の種類別セグメント情報

当第3四半期（自平成17年4月1日 至平成17年12月31日）

（単位：百万円）

	家庭用 製品事業	化粧品 事業	工業用 製品事業	計	消 去 又 全 社	連 結
. 売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	547,403	62,900	135,729	746,033	-	746,033
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	20,921	20,921	(20,921)	-
計	547,403	62,900	156,651	766,955	(20,921)	746,033
. 営業利益	80,203	6,666	18,133	105,003	202	105,205
営業利益率（%）	14.7	10.6	11.6	13.7	-	14.1

前第3四半期（自平成16年4月1日 至平成16年12月31日）

（単位：百万円）

	家庭用 製品事業	化粧品 (ソフィーナ) 事業	工業用 製品事業	計	消 去 又 全 社	連 結
. 売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	537,669	61,433	125,640	724,743	-	724,743
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	22,046	22,046	(22,046)	-
計	537,669	61,433	147,686	746,789	(22,046)	724,743
. 営業利益	80,198	7,262	15,830	103,290	295	103,586
営業利益率（%）	14.9	11.8	10.7	13.8	-	14.3

前連結会計年度（自平成16年4月1日 至平成17年3月31日）

（単位：百万円）

	家庭用 製品事業	化粧品 (ソフィーナ) 事業	工業用 製品事業	計	消 去 又 全 社	連 結
. 売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	690,006	78,294	168,550	936,851	-	936,851
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	-	-	28,439	28,439	(28,439)	-
計	690,006	78,294	196,989	965,290	(28,439)	936,851
. 営業利益	92,597	7,693	20,663	120,954	425	121,379
営業利益率（%）	13.4	9.8	10.5	12.5	-	13.0

（注）従来の「化粧品（ソフィーナ）事業」は、「化粧品事業」に名称変更しました。